

有限会社尾野興業運輸

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間 2020 年6月1日～ 2021 年5月31日)



エコアクション21
環境省
認証番号0006749

作成日： 2021年7月31日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13



I. ごあいさつ

かけがえのない地球環境の保全是事業活動の重要な要素として位置付けるとともに、産業廃棄物の収集運搬事業における環境負荷の低減を図り、人・地球・地域に優しい企業となることを目指します。

環境経営方針

<環境経営理念>

有限会社尾野興業運輸は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、本業である汚泥・動植物性残さの収集運搬を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的に取り組みます。

収集運搬事業における受託量の増加が、当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
①受託処理量（収集運搬量）の安定的確保
2. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。（電気、灯油、LPG、ガソリン、軽油）
3. 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
①当社が受託した廃棄物の処分方法は、すべて堆肥化であるため
事業そのものが再資源化の一端を担っているため 受託量の増加こそが
エコ活動そのものと言える。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 収集運搬における環境配慮に努めます。
①収集運搬車の燃費向上
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
①地域の環境美化
7. 本方針を当社の全従業員に周知徹底いたします。



制定日：2010年5月1日

改定日：2020年6月2日

代表取締役社長 尾野 守彦

II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社尾野興業運輸
代表取締役社長 尾野 守彦

(2) 所在地

本 社 兵庫県たつの市神岡町沢田949番地の1
TEL: 0791-62-9152 FAX: 0791-62-9153

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部長 唐沢 麻衣 TEL: 0791-62-9152
担当者 総務部 唐沢 麻衣 TEL: 080-1427-0902

(4) 事業内容

産業廃棄物の収集運搬業

(5) 事業の規模

法人設立 平成3年6月12日
資本金 2,000 万円
売上高 30,747 万円 (2020年度)

	本社
従業員	14 名
延べ床面積	1,400 m ²

受託した産業廃棄物:

収集運搬量 66,196 t

車種	台数	備 考
10 t ダンプ	11 台	
営業車	4 台	
フォークリフト	1 台	
	台	
合計	台	

III. 認証・登録の対象組織・活動

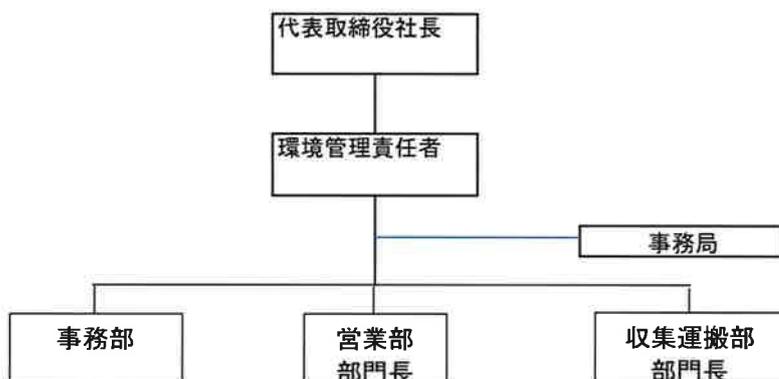
登録組織名: 有限会社尾野興業運輸
対象事業所: 本社

対象外: 無し
活動: 産業廃棄物の収集運搬業

IV. 事業の紹介



V. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

VI. 許可の内容

(1) 産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																		
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	ばいじん				
広島県	第3400001756	令和3年4月13日	令和10年4月12日	無	○																		
兵庫県	第02806001756	令和3年12月25日	令和10年12月24日	無	○	○	○	○					○							○	○	○	
岡山県	第03301001756	令和3年11月9日	令和10年11月5日	無	○	○		○														○	
愛知県	第02300001756	令和2年2月7日	令和7年1月27日	無	○																	○	
京都府	第02600001756	令和2年6月26日	令和7年5月19日	無	○	○	○															○	
和歌山県	第03000001756	令和2年1月31日	令和7年1月30日	無	○																	○	
三重県	第02400001756	令和3年1月13日	令和8年1月12日	無	○																	○	
香川県	第03709001756	平成30年9月7日	令和5年9月6日	無	○																		
大阪府	第02700001756	平成30年2月17日	令和5年2月16日	無	○	○	○	○	○	○	○	○										○	○
岐阜県	第02100001756	平成29年11月10日	令和4年11月9日	無	○																		

(2) 主要取引先

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
 (株)ダイセル 姫路製造所
 サントリープロダクツ(株)高砂・京都工場
 松谷化学工業(株)
 兵庫パルプ工業(株)
 日本製紙パピリア(株)
 丸大食品(株)高槻工場
 パナソニック液晶ディスプレイ(株)
 その他多数

(3) 処理業者一覧

(株)白滝有機産業
 児島興業(有)
 (株)日本資源開発社
 谷ファーム
 エコファーム
 クリーン発酵(株)
 日本有機(株)
 ハリマ産業エコテック(株)
 その他数社

VII. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	982,929	1,269,804	1,360,305
受託収集運搬量	t	41,738	60,255	66,196
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	16	13.6	13
水使用量	m ³	1510	1,472	1,470

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh 2018年度の関西電力の調整後の係数
 ※化学物質の使用は無し

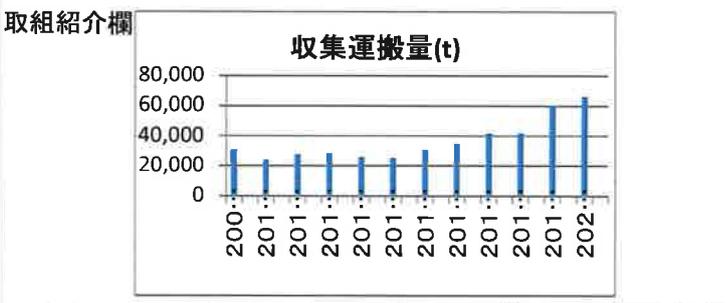
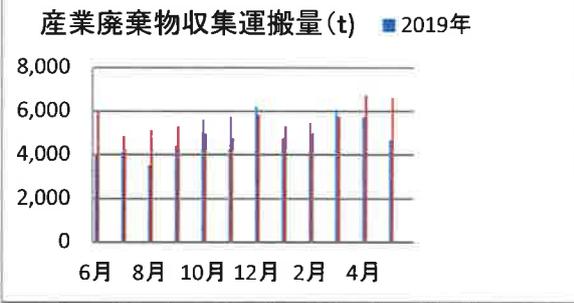
VIII. 環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2020年		評価	2021年 (目標)	2022年 (目標)
			(目標)	(実績)			
産業廃棄物収集運搬量の 安定的確保	t	60,255	60,858	66,196	○	61,460	62,063
	基準年度比	2019年	101%	110%		102%	103%
電力による二酸化炭素 削減	kg-CO ₂	2,202	2,180	2,034	○	2,158	2,136
	基準年度比	2019年	99%	83%		98%	97%
灯油による二酸化炭素 削減	kg-CO ₂	3,606	3,569	3,954	×	3,533	3,497
	基準年度比	2019年	99%	110%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	91	90	88	○	89	88
	基準年度比	2019年	99%	96%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,263,904	1,251,265	1,354,229	×	1,238,626	1,225,987
	基準年度比	2019年	99%	107%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	1,269,804	1,257,106	1,360,305	×	1,244,407	1,231,709
一般廃棄物の削減	kg	13.6	12.9	13	×	12.6	12.2
	基準年度比	2019年	95%	99%		93%	90%
水使用量の削減	m ³	1,472	1,457	1,470	×	1,443	1,428
	基準年度比	2019年	99%	100%		98%	97%
環境に配慮した収集運搬	t/L	0.127	0.128	0.130	○	0.129	0.131
	基準年度比	2019年	101%	102%		102%	103%

Ⅹ. 環境経営計画の取組結果とその評価

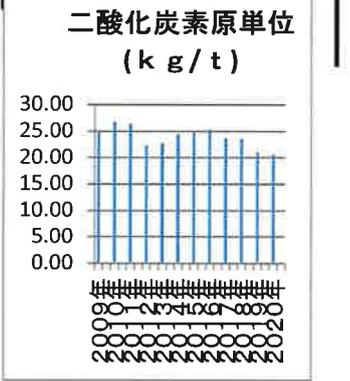
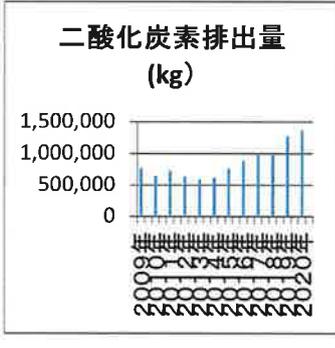
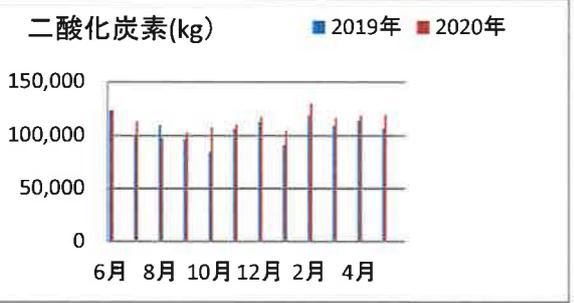
数値目標: ○達成 ×未達成

産業廃棄物収集運搬量の安定的確保	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	昨年より少しずつだが運搬量を増やすことに成功している。次年度もこの調子でやっていきたい。
・動向に応じて単価の見直しをする	○	
・処分場の確保	○	
・情報収集	○	



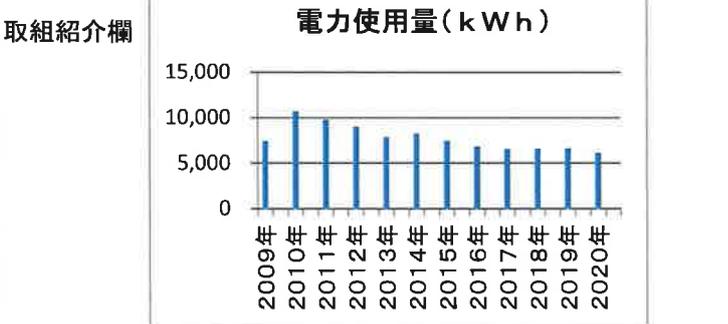
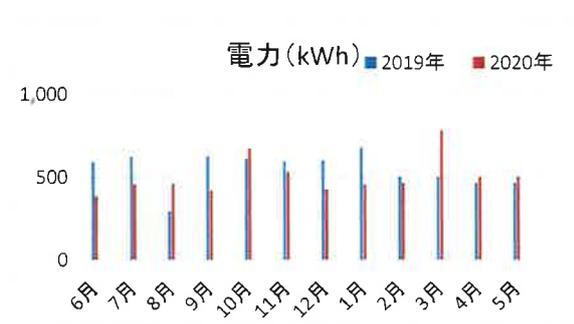
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	3,983	4,119	3,496	4,443	5,602	5,741	6,210	4,772	5,454	6,066	5,709	4,660
2020年	5,965	4,866	5,147	5,310	4,978	4,785	5,833	5,289	4,978	5,737	6,714	6,594

二酸化炭素排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	二酸化炭素排出量の数値としては×だったが、それぞれの数値は悪くなかった。次年度も継続して
・下記による		



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	123,606	99,420	109,673	95,855	83,896	106,004	112,816	90,825	118,844	108,710	113,777	106,377
2020年	123,329	112,934	97,356	102,573	107,201	109,916	117,732	104,689	129,631	116,495	119,127	119,322

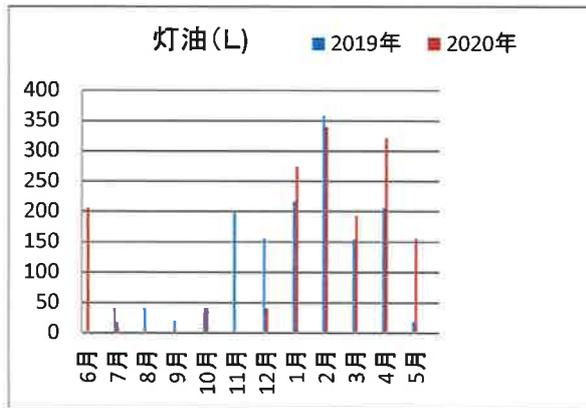
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年度と比較しても数値は悪くない。現在新社屋を建設中で省エネにつながるような工夫をしているため 次年度さらには次々年度に期待したい。
・エアコンの温度管理(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・照明管理(未使用箇所の消灯)	△	
・省エネ機器の購入	○	



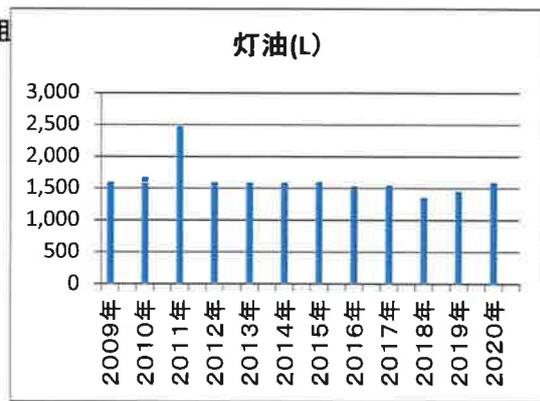
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	593	625	297	626	613	597	602	679	506	506	468	467
2020年	387	460	465	421	672	534	429	457	467	783	507	507

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	灯油による二酸化炭素の削減については 数値として×。新社屋

・石油ストーブとエアコンの併用	○	屋からは安全上のことも配慮し灯油は使用しない予定。
・石油ストーブは防火上できるだけ使用し	○	

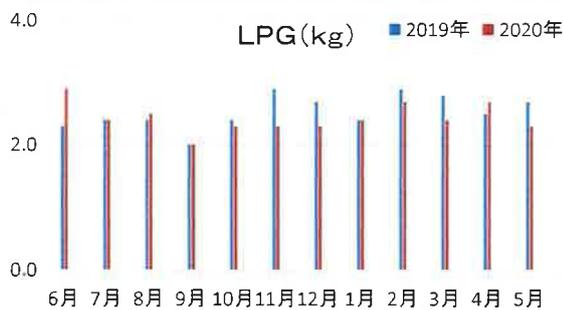


取組

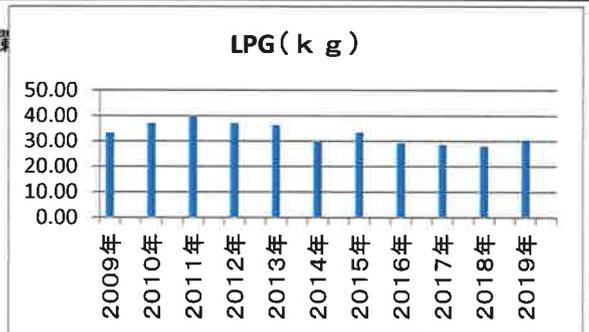


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	0	40	40	20	40	200	156	216	358	154	206	18
2020年	206	18	0	0	40	0	40	275	339	193	321	156

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	未達成。新社屋からは 火災予防の観点からもガスは使用しない
・できるだけガスコンロを使用しない	○	

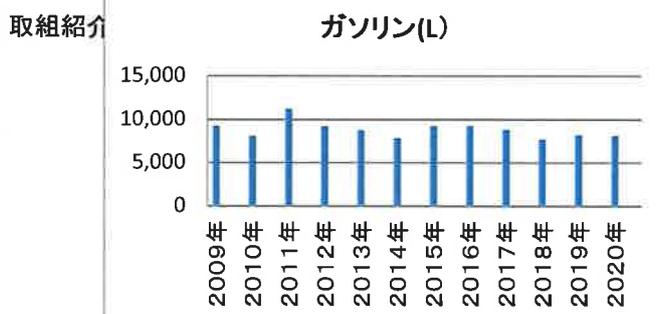
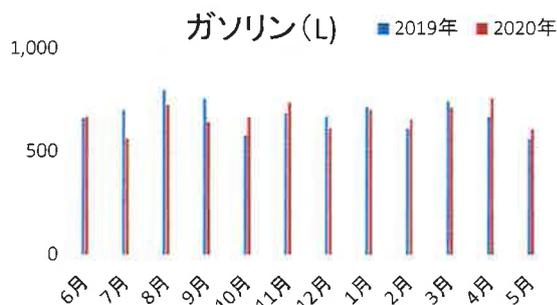


取組紹介欄

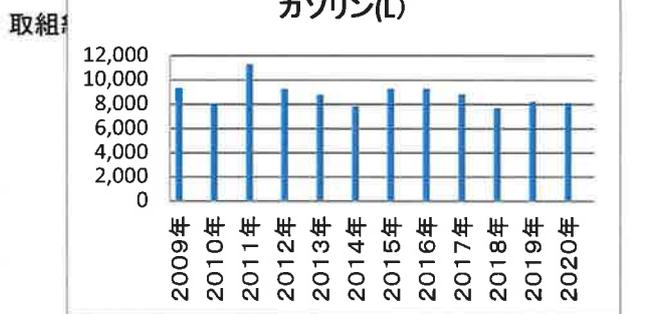
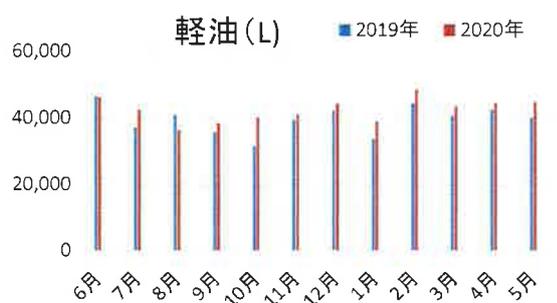


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	2.3	2.4	2.4	2.0	2.4	2.9	2.7	2.4	2.9	2.8	2.5	2.7
2020年	3	2	3	2	2	2	2	2	3	2	3	2

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	数値としては×だが 受託量との割合でいくと 悪くない。ガソリンも受託量が増えることにより営業活動が頻繁になり使用量が増加しているため、数値としては罰でも結果としては悪くない。アイドリングストップなど 運転手も気を付けてくれているため このまま継続していく。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートでの営業	○	
・適正な車両の整備	○	

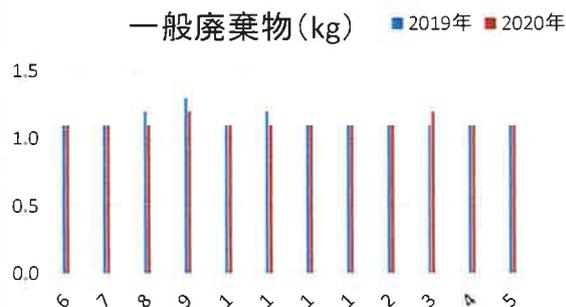


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	666	707	801	761	581	691	676	720	616	750	673	565
2020年	673	565	730	647	671	742	616	707	659	717	762	612



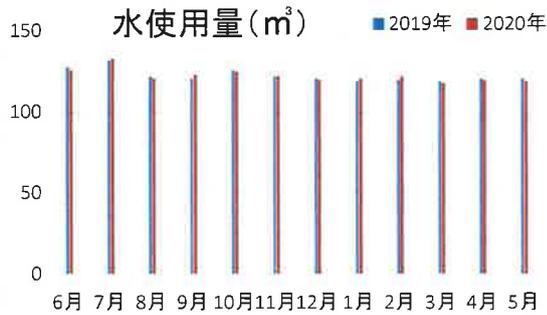
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	46,510	37,200	41,072	35,811	31,388	39,578	42,233	33,734	44,405	40,614	42,572	40,022
2020年	46,228	42,526	36,450	38,521	40,196	41,225	44,295	39,009	48,509	43,543	44,421	44,785

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	まずまずの結果。仕事量が増加しているにもかかわらず 廃棄量が極端に増加していないのはPCの中でチェックしたり、裏紙として使用した結果だと思う。プリンター・FAXも新社屋に合わせて新調するため 次年度に期待できそうだ。
・分別に寄るリサイクルの徹底	○	
・紙ごみをできるだけ減らせる	○	



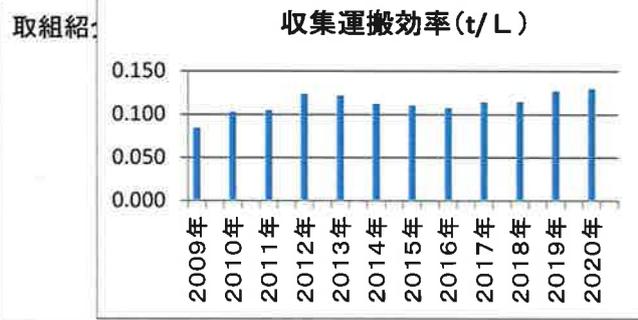
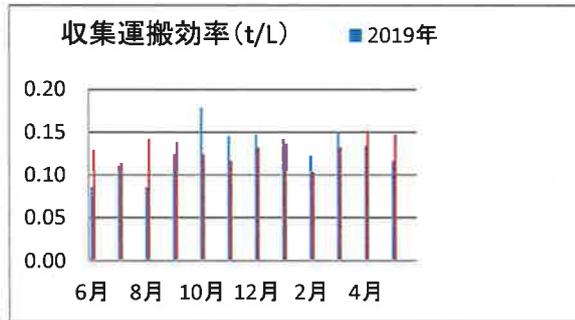
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	1.1	1.1	1.2	1.3	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
2020年	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	受託量の増加により、運搬回数が増加し、必然的に洗車の回数も増加したと思われる。弊社はどこにも宣伝していないためトラックと運転手自体が宣伝だと考える。つまり廃棄物を運搬しているのにピカピカのトラックというのは排出先にも好印象で運転手の努力のおかげだと感謝する。こういうところから仕事の増加につながっていると思われるので結果は悪くない。次年度も継続す
・ 節水意識の向上	○	
・ 洗車時の垂れ流し禁止	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	128	132	122	121	126	122	121	119	120	119	121	121
2020年	126	133	121	123	125	122	120	121	122	118	120	119

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	エコドライブ・アイドリングストップ表彰に関しては 従業員から好評であり、また成果も上がっているため、次年度も継続していく。また、あらたな取組として ぶつけないキャンペーンを創設した。次年度から取組んでいく。
・エコドライブ	○	
・アイドリングストップ	○	
・効率的、計画的収集	○	
・適正な車両の整備	○	
・事故ゼロを目指す	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	0.09	0.11	0.09	0.12	0.18	0.15	0.15	0.14	0.12	0.15	0.13	0.12
2020年	0.13	0.11	0.14	0.14	0.12	0.12	0.13	0.14	0.10	0.13	0.15	0.15

X. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正な収集運搬	遵守
自動車NOx・PM法	営業用乗用車、収集運搬用トラックの排ガス規制の遵守	遵守
消防法	防火・火災訓練、消火設備の点検	遵守
自動車リサイクル法	自動車を廃棄する場合、業者への引き渡し	対象無し
家電リサイクル法	家電を廃棄する場合、業者への引き渡し	対象無し
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検の実施、点検結果の記録、記録の保管	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

XI. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2020/9/6	■実施場所 本社
■参加者： 尾野 唐沢 大西	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 開始前に 手順書をよく読み合わせていたため 問題なく 訓練を行えた。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 まず、大西が給湯室より出荷を検知し 事務所全体に伝達した。 唐沢は 社長である尾野に伝達した。 大西が消火器を持ち 消火器にある説明通りに操作し、出火元である給湯室のガスコンロに消火剤を散布する（実際には散布はしていません）	

緊急事態の想定： 収集運搬車両事故	
■実施日： 2020/9/6	■実施場所 本社 駐車場
■参加者： 尾野 橋本 永尾 尾野 今村 大久保	■実施内容： ・事故対応、通報訓練
■評価： 手順書としてはよく出来ているが 実際に流出が起こった場合 頭に手順が浮かぶかどうかは疑問であるため 普段から手順書によく目を通しておく必要がある。他の教育訓練の際にも 読み合わせるなど 行う必要がある。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

XII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 尾野 守彦 実施日：2021年7月27日

受託量の増加に伴い、いろいろな面で見直しの必要がある。受託量の増加自体はエコアクション本来の活動と言えるので、その点においてはかなり良い評価だといえる。新社屋の建設計画もあるため、電気・水・ガス・灯油において 来期は見直し計画自体を変更するべきか検討する。ぶつけない運動やエコドライブ表彰などは従業員の士気を高め 良い結果を表している。この運動に関しては 来期以降も継続していく。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

XIII. これまでの環境活動の紹介



勤続10年の従業員のお祝い。
他の従業員にも目標とやる気をもって
仕事をしてもらうためにも 大事な取組と
位置づけています。



今年のクリスマスはわが社にサンタクロースが来てくれました。
運転手さんたちに笑顔をお届け。
笑顔で仕事をすれば ミスや事故が減ります。

XIV. 編集後記

今回 この形式でのレポート作成が初めてのため 訓練の様子等 写真におさめ忘れたり どういう風に作成したらよいか等色々 迷いました。
来期は もっとより良いものを 作成出来たらと思います。